

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【公表番号】特表2009-515897(P2009-515897A)

【公表日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2008-540265(P2008-540265)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 51/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 K 39/395 Y

A 6 1 K 43/00

A 6 1 P 35/00

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 16/18

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

卵巣癌を有効に処置するための組成物であって、

—T細胞の免疫グロブリンDメインまたはムチンドメイン1(TIM-1)に特異的に結合する抗体またはその結合フラグメント

を含む、組成物。

【請求項2】

前記抗体が配列番号54に示されるアミノ酸配列を含む、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記抗体が 10^{-7} Mと 10^{-14} Mとの間のKdでTIM-1に対して結合する、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】

前記抗体または結合フラグメントが治療剤に結合された、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

前記治療剤が毒素である、請求項5に記載の組成物。

【請求項7】

前記治療剤が放射性同位元素である、請求項5に記載の組成物。

【請求項8】

前記治療剤が化学療法因子である、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 9】

腎臓癌を有効に処置するための組成物であつて、

T細胞の免疫グロブリンDメインまたはムチンドメイン 1 (T I M - 1) に特異的に結合する抗体またはその結合フラグメントを含む、組成物。

【請求項 10】

前記抗体が配列番号 5 4 に示されるアミノ酸配列を含む、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記抗体が 10^{-7} M と 10^{-14} M との間の Kd で T I M - 1 に対して結合する、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記抗体または結合フラグメントが治療剤に結合された、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記治療剤が毒素である、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記治療剤が放射性同位元素である、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記治療剤が化学療法因子である、請求項 13 に記載の組成物。